

令和 4 年 6 月 3 日現在

機関番号：64401
研究種目：基盤研究(A)（一般）
研究期間：2015～2019
課題番号：15H01910
研究課題名（和文）アフリカにおける文化遺産の継承と集団のアイデンティティ形成に関する人類学的研究

研究課題名（英文）Anthropological Research on Relationships between Cultural Heritage and Communal Identity in Africa

研究代表者
吉田 憲司（Yoshida, Kenji）

国立民族学博物館・大学共同利用機関等の部局等・館長

研究者番号：10192808
交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 31,600,000円

研究成果の概要（和文）：現代のアフリカにおける有形・無形の文化遺産を巡っては、破壊や衰退、あるいは継承や創造とさまざまな状況が生じている。5年間にわたる本研究では、日本側の研究者が現地アフリカの研究機関・研究者と共同してアフリカ各地の文化遺産の継承の状況を把握し、有形・無形の遺産の集団のアイデンティティ形成における核心的意義を明らかにするとともに、それが個々人の意識の在り方に及ぼす影響についても解き明かすことができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究では、研究代表者をはじめとするメンバーのこれまでの文化遺産研究をさらに前進・深化させ、西・東・南部アフリカの文化遺産を介した集団のアイデンティティ形成の様態を明らかにすることができた。さらに社会的意義としては、現地アフリカの研究機関・研究者と共同して、こうした文化遺産の意義を改めて評価することで、文化遺産の次代に向けての創造的継承につなげるとともに、アフリカの人びとが自らの文化に誇りをもちつつ、異なる文化と共存して生活しうる基盤を涵養することもできたことが挙げられる。

研究成果の概要（英文）：In modern Africa, tangible and intangible cultural heritages are being destroyed or declining, while they are being inherited or created. The following are the results of this research over the five years. Our research members and local African research institutes and researchers have jointly clarified that these heritages have core significance in forming ethnic and regional identities. Furthermore, we have also clarified the heritages' influence on the state of human and individual consciousness.

研究分野：文化人類学

キーワード：文化遺産 アイデンティティ アフリカ 人類学

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

研究代表者の吉田憲司は、平成 17 (2005) 年度から 19 (2007) 年度にかけて、日本学術振興会アジア・アフリカ学術基盤形成事業「アフリカにおける文化遺産の危機と継承」を主宰し、アフリカにおける文化遺産の体系的な研究を進めた。この事業は、本人が所属する国立民族学博物館を日本側拠点機関とし、アフリカの 7 カ国の研究機関を現地拠点機関として将来にわたって維持可能な研究協力ネットワークを形成して、アフリカ各地の文化遺産のおかれた概況を調査するとともに、その保存・継承に向けての行動計画を策定・実施するものであった。この作業を通じて、アフリカ各地で、紛争や新たな宗教運動の展開、あるいは都市化によって有形・無形の文化遺産が危機的な状況にさらされる事例が多数存在する一方で、個々の民族・地域集団が自身の文化遺産を集団としてのアイデンティティの核として位置づけ、その集団独自の文化を継承・創造していかこうとする動きがあり、これまでにない文化が生成されつつあることが確認されたことが、本研究を企図したきっかけであり、本研究の背景となる。

2. 研究の目的

本研究の目的は、現地アフリカの研究機関・研究者と共同して、アフリカ各地における文化遺産の実態の把握を進めるとともに、その文化遺産を介した集団のアイデンティティ形成のありかたを明らかにすることである。それは文化遺産の意義を改めて評価することに結び付き、文化遺産の次代に向けての創造的継承につなげるとともに、文化遺産を用いた集団のアイデンティティの形成の問題点と可能性を検証することにもなる。もとより、文化遺産を通じた集団のアイデンティティの醸成が、偏狭なナショナリズムや他者の排除につながるものであってはならない。本研究は、アフリカの文化遺産に関して、各社会にとって、その独自性を主張しうる特性と、より広範に共有されている特性を洗い出し、アフリカの人びとが自らの文化に誇りをもちつつ、異なる文化と共存して生活しうる基盤を涵養しようとするものであった。

3. 研究の方法

本研究では、背景の説明で述べた日本学術振興会アジア・アフリカ学術基盤形成事業「アフリカにおける文化遺産の危機と継承」で構築した研究ネットワークを活用した。南部、東、西アフリカの計 8 カ国に設けた現地研究拠点の研究者と日本側研究者が共同で、当該国ならびにその周辺諸国における文化遺産の継承の実態とそれによる集団のアイデンティティ形成の様態を調査するとともに、その相互の比較研究・研究連絡を通じて、より広域で共有されている文化遺産を抽出し、文化遺産をめぐる運動と研究のネットワーク化を進めるという手法をとった。また、現地の博物館と共同してワークショップを開催することで、文化遺産を介した集団のアイデンティティ形成の在り方や、異なる文化の共存に向けた指針などの研究成果を共有することに努めた。

4. 研究成果

研究代表者および研究分担者、連携研究者 8 名が、南部アフリカ (ザンビア、マダガスカル、南アフリカ)、東アフリカ (ケニア、エチオピア)、西アフリカ (カメルーン、マリ、ガーナ) にて、現地研究拠点機関・現地研究協力者と共同 (表 1 を参照) で、当該地域における文化遺産の現状と集団のアイデンティティ形成との関係についての現地調査を実施したことによって、それぞれの地域が抱える問題と文化遺産の継承に影響を与える様々な要因を明らかにした。

アフリカにおける文化遺産の継承と集団のアイデンティティ形成に関する人類学的研究 全体統括・研究代表者：吉田憲司	
・南部アフリカ / 統括担当 研究代表者：吉田憲司 (国立民族学博物館)	
南アフリカとその周辺地域	亀井哲也 (中京大学) 【現】ウィットウォーターズランド大学美術館：アニートラ・ネトルトン
ザンビアとその周辺地域	吉田憲司 (国立民族学博物館) 【現】国立コッパーベルト博物館：ジョージ・ムデンダ
マダガスカルとその周辺地域	飯田 卓 (国立民族学博物館) 【現】アンタナナリヴ大学芸術考古学博物館：シャンタル・ラディミラヒ
・東アフリカ / 統括担当 研究分担者：慶田勝彦 (熊本大学)	
ケニアとその周辺地域	慶田勝彦 (熊本大学) 【現】ケニア国立博物館：キップ・ラガット
エチオピアとその周辺地域	井関和代* (大阪芸術大学) 【現】エチオピア研究所：アハメド・ハッサン・オメール
・西アフリカ / 統括担当 研究分担者：和崎春日 (中部大学)	
カメルーンとその周辺地域	和崎春日 (中部大学) 【現】バムン王国宮殿博物館：ガリツィン・ルンペット博士

マリとその周辺地域	ウスビ・サコ（京都精華大学）
ガーナとその周辺地域	【現】マリ国立博物館：サミュエル・シディベ 阿久津昌三*（信州大学） 【現】マンヒア王宮博物館：ジャスティス・プロビー館長
海外共同研究機関・海外共同研究者	
大英博物館（UK）：クリス・スプリング	
イーストアングリア大学セインズベリー芸術センター（UK）：ジョン・マック	
スミソニアン協会、国立自然史博物館（USA）：メアリー・ジョー・アーノルディ	
カリフォルニア大学ロサンゼルス校（USA）：メアリー・ヌーター・ロバーツ	

表1 研究組織図（無印は、研究代表者および研究分担者、*は連携研究者、【現】は現地研究拠点とその現地研究協力者を示す）

現地研究拠点でのワークショップはザンビアとガーナで実施することができた。とくに平成29（2017）年度には、ガーナ、アシャンティ王国王都クマシのマンヒア王宮博物館において、「文化遺産の守り手としての博物館」「The Museum as a Guardian of Cultural Heritage」と題し、文化遺産の継承における博物館の役割に焦点を当てたワークショップを開催した。研究代表者の吉田憲司、研究分担者の飯田卓、和崎春日、ウスビ・サコ、亀井哲也、連携研究者の阿久津昌三の6名とともに、ザンビアから国立博物館機構フレクソン・ミジンガ議長、ガーナからはマンヒア王宮博物館のジャスティス・プロビー館長をはじめ4名が参加・発表し、博物館の役割や今後の連携について多くの意見交換を行なった。ワークショップの様子を写真1、写真2で、当日のプログラムを表2にて示した。

こうしたワークショップや研究連絡を通じて、アフリカ各地の事例から、文化遺産の継承と集団のアイデンティティ形成において、博物館が果たす役割の大きさを再確認することができた。また本研究の代表者・分担者・連携研究者がこれまで培ってきた30年以上にわたる協力関係を基盤に、こうしたワークショップを成功裡に共同開催できたことは、我々のもつ問題意識がアフリカの現状に即したものであることを証明したといえるであろう。



写真1 マンヒア王宮博物館
ジャスティス・プロビー館長



写真2 研究代表者・吉田憲司の発表の様子

【 Part 1 chairperson; Prof. Taku Iida 】	
13:00-13:15	Opening Remark : Museums and Community Development by Prof. Kenji Yoshida (National Museum of Ethnology)
13:15-13:45	Key Note Lecture by Mr. Justice Brobbey (Manhyia Palace Museum)
13:45-14:05	My Beloved Asante and the Museums in Ghana by Prof. Shozo Akutsu (Shinshu University)
14:05-14:25	Community Museums in Zambia by Mr. Flexon Mizinga (National Museums Board, Zambia)
14:25-14:40	Tea Break
【 Part 2 chairperson; Prof Haruka Wazaki 】	
14:40-15:00	Ndebele Mural Movement in South Africa by Prof. Tetsuya Kamei (Chukyo University)
15:00-15:20	Presentation by Mr. David Owusu Darkwal(Manhyia Palace Museum)
15:20-15:40	What Can a Museum Do for Intangible Cultural Heritage? A Perspective Based on the Woodcrafting Knowledge of the Zafimaniry, Madagascar by Prof. Taku Iida (National Museum of Ethnology)

15:40-16:00	Presentation by Mr. Emmanuel Quainoo (Armed Forces museum)
16:00-16:20	Role of Museum in Conservation of Yangible and Intangible Architecture Cultural Heritage: The Case of Djenne in Mali by Prof. Oussouby Sacko (Seika University)
16:20-17:00	General Discussion chaired by Prof. Haruka Wazaki (Chubu University)

表2 Schedule of “The Museum as a Guardian of Cultural Heritage”

以下、本科研の研究代表者および研究分担者による各地域での研究成果を報告する。

研究代表者の吉田憲司は、ザンビアのチェワ社会において仮面結社ニャウの活動により国境を超えた民族全体のアイデンティティが醸成されている具体相を明らかにした。また隣接するンゴニ社会の「ンシンゴ・コミュニティ・ミュージアム」の設立の経緯を検証し、集団のアイデンティティ形成におけるミュージアムの役割を明らかにして、その成果を国際博物館会議世界大会 **ICOM KYOTO 2019** の「博物館とコミュニティ開発」セッションにて報告した。また、コロナによる渡航制限中、自著『宗教の始原を求めて』の翻訳を進め、宗教運動が新たな集団のアイデンティティを形成していく軌跡を追跡した研究成果を英文で刊行する準備を終えることができた。吉田はまた、ザンビアにおいて、平成 **28 (2016)** 年度には「文化遺産の継承における博物館の役割」に焦点を当てた現地ワークショップを、平成 **30 (2018)** 年度には、「文化遺産とコミュニティ」に関する現地シンポジウムを実施した。

研究分担者の飯田卓は、マダガスカル漁撈民ヴェズ社会における技術や知識を文化遺産として捉え、その習得や共有により集団のアイデンティティが形成される様を論文で発表した。飯田は、平成 **25 (2013)** 年度から平成 **27 (2015)** 年度まで国立民族学博物館の機関研究「文化遺産の人類学—グローバルシステムにおけるコミュニティとマイノリティ」を主宰し、その成果を平成 **29 (2017)** 年に『文化遺産と生きる』と『文明史のなかの文化遺産』(臨川書店) という **2** 冊の編著書で発表している。そこで飯田が掲載している **3** つの論文、「人間不在の文化遺産」という逆説」、「商品化と反商品化—マダガスカル山村の無形文化遺産」、「人類の課題としての文化遺産—二つの文化が出会う現場」は、いずれも本研究に直接的に結びつく内容となっている。

慶田勝彦は、**2015** 年からの本研究に基づく研究成果を、令和元 (**2019**) 年アメリカ・カナダ人類学会合同の国際学会 (**The American Anthropological Association 2019 Annual Meeting**) にて、“**On Ethnographic Allegory through the Repatriation Story of Stolen Vigango (Mijikenda Memorial Statutes in Coastal Kenya) in the Postcolonial World**” と題し、ケニア海岸地方ミジケンダの祖霊木彫ヴィガンゴ **Vigango** の盗難と米国の博物館からの返還運動について、米国の **NAGPRA (Native American Graves Protection and Repatriation Act)** に基づく文化財返還の観点からの人類学的考察を発表した。

ウスビ・サコはマリにおいて、伝統的都市の建築遺産修復プロジェクトが地域コミュニティの文化伝承に如何に関与しているかについて、マリ国立博物館と共同調査を行ない、文化遺産の保存と政策の関わりを明らかにした。

和崎春日は研究生活の集大成として令和 **2 (2020)** 年 **3** 月に編著書『響きあうフィールド, 躍動する世界』を出版し、自身も「経験実証に基づく変化・関係・競争・動態の人類学」および「往還と出会いのフィールドワーク論: 邂逅誌が人生の係わる研究を証し表す」を著し、カメルーンをはじめとする世界各地の文化的遺産の生成・維持を、移動を含む動態の中で捉える「関係論的人類学」を論じた。

亀井哲也は、上記の和崎による編著書『響きあうフィールド, 躍動する世界』において、「ンデベレの娘たち—南アフリカの成女儀礼と恋愛、そして・・・」と題し、南アフリカのンデベレ社会の成女儀礼が少女個人に重要なだけでなく、集団として知識・技術や価値観を継承しその帰属意識を維持するのに極めて重要な文化遺産となっていることを明らかにした。また、**2016** 年から **2017** 年にかけて実施した、アフリカのンデベレ社会の文化遺産である壁絵及びその描画活動に関する教育プログラムについて、「大学教育と博物館展示の協働: ンデベレ文化を教材として」と題し、**2020** 年 **3** 月に出版した『大学教育と博物館』(中京大学先端共同研究機構文化科学研究所博物館研究プロジェクト(編)) に発表した。この論文では、ンデベレの壁絵が日本の博物館で描画されることを契機として、ンデベレの壁絵の描き手と博物館と大学という **3** 者の相互作用について記述し、文化遺産の継承には内発的な運動のみならず、文化遺産を鑑賞する外部への発信が重要であることを論じた。また同書にて発表した「大学博物館の役割: **Beyond 'Town and Gown'**」という論文においては、本研究の現地研究拠点としたウィットウォーターズランド大学美術館を事例として取り上げ、民族誌的資料と現代アフリカンアートの接合を試みる同館のアフリカの文化遺産に対するアプローチについて言及した。

以上、この **5** 年間の研究で、アフリカ各地の文化遺産の継承の状況を把握し、有形・無形の遺産の集団のアイデンティティ形成における核心的意義を明らかにするとともに、それが個々人の意識の在り方に及ぼす影響についても解き明かすことができた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計68件（うち査読付論文 17件 / うち国際共著 2件 / うちオープンアクセス 8件）

1. 著者名 Kenji Yoshida	4. 巻 109
2. 論文標題 Creating Festivals, Revitalizing Communities: Ongoing Cultural Movements in Zambia	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Senri Ethnological Studies (Taku Iida (ed.) Heritage Practices in Africa)	6. 最初と最後の頁 209-219
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15021/00009921	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 38
2. 論文標題 「プリミティヴィズム」再考	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 民族藝術学会誌 arts/	6. 最初と最後の頁 20-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taku Iida	4. 巻 109
2. 論文標題 "Adaptive "heritage: Carving as a Cultural Icon and a Way of Life for the Zafimaniry of Madagascar	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Senri Ethnological Studies (Taku Iida (ed.) Heritage Practices in Africa)	6. 最初と最後の頁 77-98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15021/00009915	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Katsuhiko Keida	4. 巻 109
2. 論文標題 Still a State of Void?: Cultural Heritage, Sacred Places and Living spaces of the Mijikenda Kaya Forests along the Kenyan Coast in East Africa	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Senri Ethnological Studies (Taku Iida (ed.) Heritage Practices in Africa)	6. 最初と最後の頁 55-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15021/00009914	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Oussouby Sacko	4. 巻 109
2. 論文標題 Critical Changes in Djenne's Local Community after its Nomination as a World Heritage Site: Issues of Preservation and Cultural Conservation	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Senri Ethnological Studies (Taku Iida (ed.) Heritage Practices in Africa)	6. 最初と最後の頁 41-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15021/00009913	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 118 (4)
2. 論文標題 仮面と身体	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 学鏡	6. 最初と最後の頁 6-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 James Clifford, Atsunori Ito, Reiko Saito, Kenji Yoshida, Isao Hayashi and Taku Iida	4. 巻 45(1)
2. 論文標題 International Symposium "Future of the Museum: An Anthropological Perspective"	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国立民族学博物館研究報告	6. 最初と最後の頁 115-176
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15021/00009580	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 -
2. 論文標題 チェワ マラヴィと呼ばれた王国の末裔たち	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 (単行書) 『ザンビアを知るための55章』 島田周平・大山修一編 東京：明石書店	6. 最初と最後の頁 112-116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 -
2. 論文標題 チェワ社会の仮面結社ニヤウ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 (単行書) 『ザンビアを知るための55章』 島田周平・大山修一編 東京：明石書店	6. 最初と最後の頁 117-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 7
2. 論文標題 人類学と博物館 これまでとこれから	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 じんるいけん Booklet 南山大学人類学研究所設立70周年 記念シンポジウム講演録 人類学と博物館 民族誌資料をどう研究するのか？	6. 最初と最後の頁 11-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kenji Yoshida	4. 巻 -
2. 論文標題 Museums as a Basis of Community Development	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Museums and Community Development	6. 最初と最後の頁 7-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 和崎春日	4. 巻 -
2. 論文標題 序にかえて、全論を貫いて解く：経験実証に基づく変化・関係・競争・動態の人類学	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 (単行書) 『響き合うフィールド、躍動する世界』 (和崎春日(編))。刀水書房	6. 最初と最後の頁 v-xliv
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 和崎春日	4. 巻 -
2. 論文標題 往還と出会いのフィールドワーク論：邂逅誌が人生の係わる研究を証し表す	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 (単行書)『響き合うフィールド、躍動する世界』(和崎春日(編))。刀水書房	6. 最初と最後の頁 753-773
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 亀井哲也	4. 巻 -
2. 論文標題 ンデベレの娘たち 南アフリカの成女儀礼と恋愛、そして・・・	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 (単行書)『響き合うフィールド、躍動する世界』(和崎春日(編))。刀水書房	6. 最初と最後の頁 552-569
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 亀井哲也	4. 巻 -
2. 論文標題 大学教育と博物館展示の協働：ンデベレ文化を教材として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 (単行書)『大学教育と博物館』中京大学先端共同研究機構文化科学研究所博物館研究プロジェクト(編)。ユニテ	6. 最初と最後の頁 21-67
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 亀井哲也	4. 巻 -
2. 論文標題 大学博物館の役割：Beyond 'Town and Gown'	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 (単行書)『大学教育と博物館』中京大学先端共同研究機構文化科学研究所博物館研究プロジェクト(編)。ユニテ	6. 最初と最後の頁 131-162
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 1
2. 論文標題 Intangible Cultural Heritage and Local Communities: A Perspective on Museums	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proceedings of International Researchers Forum: Perspectives of Research for Intangible Cultural Heritage towards a Sustainable Society	6. 最初と最後の頁 pp.1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 55
2. 論文標題 ICOM京都大会を振り返る 成果と課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 別冊博物館研究 ICOM京都大会2019記念特集号	6. 最初と最後の頁 pp.46-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 6
2. 論文標題 基調講演「人類学と博物館－これまでとこれから」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 人類研Booklet 2020	6. 最初と最後の頁 pp.11-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 1
2. 論文標題 共感・共創の時間空間の創造	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 チームラボ永遠の今の中で teamLab AT THE NOW OF ETERNITY	6. 最初と最後の頁 pp.86-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飯田卓	4. 巻 1
2. 論文標題 技術習得と知識共有 マダガスカル漁撈民ヴェズの事例から考える	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 杉島敬志(編)『コミュニケーション的存在論の人類学』臨川書店	6. 最初と最後の頁 pp.304-342
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iida Taku	4. 巻 102
2. 論文標題 DiPLAS: Academic Image Platform for Twentieth-Century Photographs	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Senri Ethnological Studies (Naoko Sonoda (ed.) Conservation of Cultural Heritage in a Changing World)	6. 最初と最後の頁 pp.165-174
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.15021/00009474	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 亀井哲也	4. 巻 1
2. 論文標題 ンデベレの娘たち 南アフリカの成女儀礼と恋愛、そして・・・	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 和崎春日(編)『響き合うフィールド、躍動する世界』刀水書房	6. 最初と最後の頁 pp.552-569
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 和崎春日	4. 巻 1
2. 論文標題 経験実証にもとづく変化: 関係・競争・動態の人類学	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 和崎春日(編)『響き合うフィールド、躍動する世界』刀水書房	6. 最初と最後の頁 pp.5-44
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 和崎春日	4. 巻 1
2. 論文標題 往還と出会いのフィールドワーク論 邂逅誌が人生の係わる研究を証し表す	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 和崎春日(編)『響き合うフィールド、躍動する世界』刀水書房	6. 最初と最後の頁 pp.753-773
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 和崎春日	4. 巻 16
2. 論文標題 アフリカ地方バムン王国の民族儀礼 生活地平・民族・国家・地球規模交流を生き抜く	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 GLOCAL	6. 最初と最後の頁 pp.4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 -
2. 論文標題 ヨーロッパとアメリカにおける博物館の歴史と現在	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 (単行書)『博物館概論』稲村哲也編 東京：放送大学教育振興会	6. 最初と最後の頁 52-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 -
2. 論文標題 アジア・アフリカにおける博物館の歴史と現在	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 (単行書)『博物館概論』稲村哲也編 東京：放送大学教育振興会	6. 最初と最後の頁 74-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 -
2. 論文標題 日本における博物館の歴史と現在	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 (単行書) 『博物館概論』 稲村哲也編 東京：放送大学教育振興会	6. 最初と最後の頁 95-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 34
2. 論文標題 民族芸術学の構想－その成立と現代的意義	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 民族藝術	6. 最初と最後の頁 33-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 165
2. 論文標題 岡本太郎と民博-70年万博の遺産 (レガシー) の現在 (いま)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『季刊 民族学』	6. 最初と最後の頁 8-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 1
2. 論文標題 日本とアフリカ、自己と他者 (インタビュー)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『M.L.J』 東京：Project M.L.J	6. 最初と最後の頁 100-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 43(1)
2. 論文標題 みんなく開館40周年にあたって	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『国立民族学博物館研究報告』	6. 最初と最後の頁 79-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 79(10)
2. 論文標題 人類学からみた「色彩と認識」(インタビュー)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『ART in EDUCATION 教育美術 10』大阪:公益財団法人 教育美術振興会	6. 最初と最後の頁 14-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 -
2. 論文標題 文明の転換点における博物館	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『中国社会学学会中日社会学専門委員会2018年度年次例会・「トランスネーション:東アジアの知的生産、文化コミュニケーションと融合」国際シンポジウム』杭州:中日社会学専門委員会	6. 最初と最後の頁 17-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 -
2. 論文標題 文明の転換点におけるミュージアムの可能性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『平成29年度 全国美術館会議 第32回学芸員研修会 報告書 社会状況の多様化に美術館はどう向き合うか』東京:全国美術館会議	6. 最初と最後の頁 118-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 50
2. 論文標題 地域コミュニティと博物館	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『れきみんきょう』広島：広島県歴史民俗資料館等連絡協議会	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 和崎春日	4. 巻 13
2. 論文標題 カメルーン最大都市ドアラにおける中華街の形成と文化遺産 アジア-アフリカ関係急発展のなかの中国 カメルーン間の交流動態	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『貿易風』	6. 最初と最後の頁 95-118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ウスビ・サコ	4. 巻 6
2. 論文標題 ジェンネの日干しレンガ建築文化の保護・修復 日干しレンガ建築士からの聞き取り	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Afro-Eurasian Inner Dry Land Civilizations	6. 最初と最後の頁 49-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ウスビ・サコ	4. 巻 30-1
2. 論文標題 第4回「チャイニーズ・ドリームの光と影 中国におけるアフリカ系コミュニティの形成と交易」中国 における西アフリカ系商人のコミュニティ形成とビジネスの実態 広州に生きるアフリカ出身者とチョコ コレートタウンに焦点を当てる	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 立命館言語文化研究	6. 最初と最後の頁 89-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 -
2. 論文標題 伝統の創成と開かれたアイデンティティ 中南部アフリカ・ザンビアにおける民族集団の動きから	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 (単行書) 『文明史のなかの文化遺産』 飯田卓(編) 臨川書店	6. 最初と最後の頁 177-205
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 162
2. 論文標題 民博の展示のこれまでとこれから	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『季刊民族学』	6. 最初と最後の頁 7-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 158
2. 論文標題 文明の転換点における人類学と博物館	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『民博通信』	6. 最初と最後の頁 4-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15021/00008486	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 475
2. 論文標題 開館40年、これからのみんぱく	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『月刊みんぱく』2017 4月号	6. 最初と最後の頁 2-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飯田卓	4. 巻 -
2. 論文標題 「人間不在の文化遺産」という逆説	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 (単行書)『文化遺産と生きる』飯田卓(編)臨川書店	6. 最初と最後の頁 12-35
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飯田卓	4. 巻 -
2. 論文標題 商品化と反商品化 マダガスカル山村の無形文化遺産	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 (単行書)『文化遺産と生きる』飯田卓(編)臨川書店	6. 最初と最後の頁 315-342
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飯田卓	4. 巻 -
2. 論文標題 人類的課題としての文化遺産 二つの文化が会う現場	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 (単行書)『文明史のなかの文化遺産』飯田卓(編)臨川書店	6. 最初と最後の頁 12-35
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飯田卓	4. 巻 -
2. 論文標題 海で遊び、生きかたを学ぶ マダガスカルの漁民ヴェズ	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 (単行書)『子どもたちの生きるアフリカ』清水貴夫・亀井伸孝(編)昭和堂	6. 最初と最後の頁 196-208
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 和崎春日	4. 巻 -
2. 論文標題 アフリカ王国仮面文化の文化財化とツーリスト・アートの相互動態 カメルーン・バムン王国の鋳物工芸から	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『アフリカへのまなざし』中部大学民族資料博物館	6. 最初と最後の頁 52-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 和崎春日	4. 巻 -
2. 論文標題 韓国滞留アフリカ人の移動と集合 首都ソウルのイテウォンと郊外アンサンの比較から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 (単行書) 『移動と移民』栗田和明(編)昭和堂	6. 最初と最後の頁 115-143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 和崎春日	4. 巻 -
2. 論文標題 ハノイ民衆ストリートの文化組成力とアフリカ受容 ベトナム都市民衆の慣習からの生活自揚と多元的文化創発	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 (単行書) 『ストリート人類学 方法と理論の実践的展開』関根康正(編)風響社	6. 最初と最後の頁 363-398
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 和崎春日	4. 巻 13
2. 論文標題 カメルーン最大都市ドアラにおける中華街の形成と文化遺産 アジア - アフリカ関係急発展のなかの中国 - カメルーン間の交流動態	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『貿易風』中部大学国際関係学部	6. 最初と最後の頁 102-136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 亀井哲也	4. 巻 62
2. 論文標題 社会のつながりと再分配のメリット インデベレ社会とミュージアムから	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『中京大学現代社会学部紀要』	6. 最初と最後の頁 147-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 亀井哲也	4. 巻 34
2. 論文標題 ンデベレ壁絵文化の海外発信	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『民族藝術』	6. 最初と最後の頁 163-170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 亀井哲也	4. 巻 -
2. 論文標題 南アフリカ共和国	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 (単行書) 『世界の暦文化事典』中牧弘允(編)丸善出版	6. 最初と最後の頁 328-331
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida, Kenji	4. 巻 -
2. 論文標題 Museums and Community Development: With Special Reference to Zambian Cases	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 (単行書) New Horizons for Asian Museums and Museology(Ed. by Naoko Sonoda)Springer Open.	6. 最初と最後の頁 187-202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida, Kenji	4. 巻 1
2. 論文標題 Masks and Secrecy among the Chewa	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 African Masks and Masquerades Part One: A Batch from African Arts (MIT Press Batches) Kindle Edition	6. 最初と最後の頁 34-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 亀井哲也	4. 巻 -
2. 論文標題 オリンピックとミュージアム	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 (単行書) 『知の饗宴としてのオリンピック』(石堂典秀、大友昌子、木村香織、來田エイデル研究所享子(編))。	6. 最初と最後の頁 61-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 亀井哲也	4. 巻 -
2. 論文標題 「アマドージ」、「ウンクルンクル」、「シャカ」、「ムシ」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 (単行書) 『世界神話伝説大事典』(篠田知和基、丸山顕徳(編)勉誠出版)。	6. 最初と最後の頁 416, 528ほか
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飯田 卓	4. 巻 153
2. 論文標題 無形文化遺産の継承における「オーセンティックな変更・変容」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 民博通信	6. 最初と最後の頁 4 9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 飯田 卓	4. 巻 -
2. 論文標題 家屋の堅牢さと手軽さ マダガスカルの暮らし	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 (単行書) 『住まいがたえる世界の暮らし 今日の居住文化』(藤木庸介(編))。世界思想社	6. 最初と最後の頁 101-114
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ウスビ・サコ	4. 巻 -
2. 論文標題 北西アフリカにおける遊牧と定住 トゥアレグの居住文化	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 (単行書) 『住まいがたえる世界の暮らし 今日の居住文化』(藤木庸介(編))。世界思想社	6. 最初と最後の頁 46-62
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 -
2. 論文標題 人類学の視点から見る仮面 仮面という装置が明かす人類の普遍性	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 (単行書) 『能面を科学する 世界の仮面と演劇』	6. 最初と最後の頁 151-172
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 27(4)
2. 論文標題 人類学からみた「イメージ人類学」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 立命館 言語文化研究	6. 最初と最後の頁 11-20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 亀井哲也	4. 巻 -
2. 論文標題 せびられる老女	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 (単行書)『アフリカの老人 老いの制度と力をめぐる民族誌』(慶田勝彦、田川 玄、花淵馨也(編))。九州大学出版会	6. 最初と最後の頁 153-158
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 亀井哲也	4. 巻 -
2. 論文標題 アフリカの博物館 南アフリカの野外博物館を中心に	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 (単行書)『新訂 博物館展示論(放送大学教材)』(稲村哲也(編))。放送大学教育振興会	6. 最初と最後の頁 270-287
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Haruka Wazaki	4. 巻 5
2. 論文標題 Life Strategy of Africans living or stayin in Japan, China and Korea.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Crossing and Hybridity in African Societies and Cultures, the Fifth IAS Humanities Korea International Conference	6. 最初と最後の頁 31-38
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井関和代	4. 巻 -
2. 論文標題 海峡を渡った布 インド洋から以西の布の動き	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 (単行書)『特別展 「海峡を渡る布」図録』大阪歴史博物館	6. 最初と最後の頁 94-101
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計54件（うち招待講演 21件 / うち国際学会 15件）

1. 発表者名 Kenji Yoshida
2. 発表標題 Revisiting the "Images of Other Cultures" Exhibition :the Impact of the 1997 Show and Beyond
3. 学会等名 "Africa and Beyond" A Conference celebrating John Mack's Contribution, University of East Anglia, Norwich, UK (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 「プリミティヴィズム」再考
3. 学会等名 民族藝術学会第37回大会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 人類文化の多様性と普遍性 仮面と医療をめぐる私のフィールドワークから
3. 学会等名 千葉大学 卓越大学院 卓越大学院プログラム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 知のフォーラムをめざした博物館づくり
3. 学会等名 東京都立大学オープンユニバーシティ 日本の魅力ある博物館・美術館シリーズ
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 ポストコロナの社会－文明の転換点における未来への視座
3. 学会等名 第16回「選択する未来2.0」内閣府
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kenji Yoshida
2. 発表標題 Museums as a Basis of Community Development
3. 学会等名 ICOM Kyoto 2019 session "Museums and Community Development" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kenji Yoshida
2. 発表標題 The Museum, a platform for understanding of the "Diversity and Universality" of humanity: our museum's challenges
3. 学会等名 ICOM Kyoto 2019, the off-site meeting of ICOM ICME and ICOM CIMCIM (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kenji Yoshida
2. 発表標題 Creating Festivals, Constructing Museums: Ongoing Cultural Movements in Eastern Zambia
3. 学会等名 Museum Cooperation Colloquium 2018 Anthropology, Archaeology and the Museum, Lusaka National Museum, Zambia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 文明の転換点における博物館
3. 学会等名 岡山県博物館協議会総会平成30年度総会、岡山県立美術館（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 文明の転換点におけるミュージアムの可能性
3. 学会等名 全国美術館会議（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kenji Yoshida
2. 発表標題 The Museum: A Place of Transmitting and Creating “Memory”
3. 学会等名 The 23rd Science in Japan Forum “Memory and the Museum”, National Museum of the American Indian（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 国立民族学博物館の展示　新しい民博の本館展示のできるまで
3. 学会等名 展示論講座、日本展示学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 アート（美術）とアーティファクト（器物） - 美術館と博物館のあいだ
3. 学会等名 第8回研究会 シンポジウム「文化資源と もの がたり」、お茶の水女子大学（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 文明の転換点における博物館
3. 学会等名 中国社会学学会中日社会学専門委員会2018年度年次例会、浙江大学（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 フォーラムとしてのミュージアム、フォーラムとしての学術研究
3. 学会等名 総研大文化フォーラム、国立民族学博物館（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 「太陽の塔」から民博へ -70年万博のレガシーの現在-
3. 学会等名 ナレッジキャピタル大学校、グランフロント大阪（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 美術館の過去、現在、未来 - ミュージアムの可能性を考える
3. 学会等名 福岡ミュージアム連絡会議、福岡市科学館（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 アートと人類学「イメージの力」展から
3. 学会等名 東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科 アートプロデュース特論 ゲスト講義（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 民族の祭りと博物館の創成競争
3. 学会等名 国際協力塾、JICA会議室（ザンビア）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 仮面舞踏が明かす森のイメージ ザンビアチェワの仮面結社ニャウの活動から
3. 学会等名 財団公益法人 丹波の森協会「丹波の森大学」、丹波の森公苑（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 和崎春日
2. 発表標題 新しい中華街の形成はアフリカ伝統都市文化を破壊しているのか
3. 学会等名 日本アフリカ学会第55回学術大会、北海道大学
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 亀井哲也
2. 発表標題 ンデベレの壁絵描画運動の調査研究と博物館における活動支援(ポスター発表)
3. 学会等名 文化遺産国際協力コンソーシアムシンポジウム「文化遺産国際協力のかたち 世界遺産を未来に伝える日本の貢献」、日経ホール
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Oussouby Sacko
2. 発表標題 THE FUTURE OF AFRO-ASIAN RELATIONSHIPS African Potentialities and Lesson from Asian Experience
3. 学会等名 INAUGURAL WORKSHOP ON AFRO-ASIAN STUDIES INITIATIVES (AASI) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 アフリカにおける伝統の継承と現代的展開 ~西アフリカ・マリ共和国の子どもと文化を通して~
3. 学会等名 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 主催第24回FDフォーラム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Oussouby Sacko
2. 発表標題 Keynote Address: Asia-Africa Future Knowledge Perspective - African Potentialities and Asian Experiences
3. 学会等名 Africa-Asia 'A New Axis of Knowledge' Second Edition, Dar es Salaam, Tanzania (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Oussouby Sacko
2. 発表標題 Living Practice: Distilling Local Knowledge of Cohabitation; The case of Mali courtyard house and Kyoto Townhouse 8211;
3. 学会等名 Africa-Asia 'A New Axis of Knowledge' Second Edition, Dar es Salaam, Tanzania (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Oussouby Sacko
2. 発表標題 The role of Architecture Conservation for Communities' Continuity -Example of Historical Towns Djenne and Kyoto-
3. 学会等名 Technical University Berlin, University of the Arts Berlin and Bauhaus University Weimar -Bauhaus University - Weimar (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Oussouby Sacko
2. 発表標題 Les Afrique(s) en Asie(s) - Africa(s) in Asia(s) The raise of African cultural contents as part of Japan's pop culture - Role of African scholars for cultural knowledge transfer in Japanese Society-
3. 学会等名 [CRAA-ETRE]"Comprendre les relations entre l'Afrique et l'Asie" EHESS/France-Japan Foundation (PSL) EHESS-IMAF (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Oussouby Sacko
2. 発表標題 The Role of Traditional Builders and Intangible Culture in Djenn's World Heritage Conservation and Tourist Activities Revitalization
3. 学会等名 21th International Symposium "HERITAGE as a BUILDER of PEACE 2019" Florence FLORENCE- PALAZZO COPPINI MUSEO FONDAZIONE DEL BIANCO (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kenji Yoshida
2. 発表標題 Opening Remark: Museums and Community Development
3. 学会等名 Workshop "The Museum as a Guardian of Cultural Heritage." (August 25, 2017, Manhyia Palace Museum, Kumasi, Ghana)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 博物館と民族集団ー文化遺産の保護・活用をめぐる
3. 学会等名 2017年国際シンポジウム「博物館と客家研究」会議 台湾客家文化館
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 博物館とエスニック集団ー国立民族学博物館悪経験から
3. 学会等名 2017国際シンポジウム「博物館と客家研究」会議 International Conference Hall of Taiwan Museum (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 地域コミュニティと博物館
3. 学会等名 広島県歴史民俗資料館等連絡協議会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shozo Akutsu
2. 発表標題 My Beloved Asante and the Museums in Ghana
3. 学会等名 Workshop “ The Museum as a Guardian of Cultural Heritage.” (August 25, 2017, Manhyia Palace Museum, Kumasi, Ghana)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tetsuya Kamei
2. 発表標題 Ndebele Mural Movement in South Africa
3. 学会等名 Workshop “ The Museum as a Guardian of Cultural Heritage.” (August 25, 2017, Manhyia Palace Museum, Kumasi, Ghana)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Oussouby Sacko
2. 発表標題 Role of Museum in Conservation of Yangibleand Intangible Architecture Cultural Heritage: The Case of Djenne in Mali
3. 学会等名 Workshop “ The Museum as a Guardian of Cultural Heritage.” (August 25, 2017, Manhyia Palace Museum, Kumasi, Ghana)
4. 発表年 2017年

1 . 発表者名 Haruka Wazaki
2 . 発表標題 General Discussion, chairperson
3 . 学会等名 Workshop “ The Museum as a Guardian of Cultural Heritage.” (August 25, 2017, Manhyia Palace Museum, Kumasi, Ghana)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Taku Iida
2 . 発表標題 What Can a Museum Do for Intangible Cultural Heritage? A Perspective Based on the Woodcrafting Knowledge of the Zafimaniry, Madagascar
3 . 学会等名 Workshop “ The Museum as a Guardian of Cultural Heritage.” (August 25, 2017, Manhyia Palace Museum, Kumasi, Ghana)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Taku Iida
2 . 発表標題 Projects at National Museum of Ethnology, Japan: Toward the Hototheque of the World
3 . 学会等名 Annual Conference of International Committee of Museums and Collections of Ethnography (ICME), International Council of Museums (ICOM) (National Museum of American Indians, Washington, DC, USA) (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Taku Iida
2 . 発表標題 DiPLAS: An Academic Platform of Images from the 20th Century
3 . 学会等名 International Symposium (Research Trends Round-Table I) “ Preservation of Cultural Heritage in a Changing World” (October 8, 2017, National Museum of Ethnology, Suita, Japan) (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 阿久津昌三
2. 発表標題 公開講演会「アフリカ新商売往来～Money-Go-Round～中国のアフリカ攻勢とアフリカの狡知・知恵」趣旨説明
3. 学会等名 日本アフリカ学会第 54 回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 公開講演会発表「中国における西アフリカ系商人のコミュニティ形成とビジネスの実態 広州に生きるアフリカンコミュニティとチョコレートタウンに焦点をあてる」
3. 学会等名 日本アフリカ学会第 54 回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 和崎春日
2. 発表標題 公開講演会「アフリカ新商売往来～Money-Go-Round～中国のアフリカ攻勢とアフリカの狡知・知恵」総合討論
3. 学会等名 日本アフリカ学会第 54 回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 清水貴夫、中尾世治、伊藤未来、小林広英、亀井哲也
2. 発表標題 フォーラム：サバンナの住い：ブルキナファソ、カッセーナの「伝統」と変容
3. 学会等名 第53回アフリカ学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 亀井哲也
2. 発表標題 ンデベレ人（南アフリカ）の壁絵文化について
3. 学会等名 民族藝術学会第143回例会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 阿久津昌三
2. 発表標題 大統領のスピーチ Kwame Nkrumahの独立式典の事例を中心としてー
3. 学会等名 第53回日本アフリカ学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Taku Iida
2. 発表標題 Traveling and In-Dwelling Knowledge: Learning and Technological Exchange among Vezo Fishers in Madagascar
3. 学会等名 Conference "The World Multiple: Everyday Politics of Knowing and Generating"
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 飯田 卓
2. 発表標題 担い手にとっての文化遺産の価値と、観光客にとっての文化遺産の価値 マダガスカル中央高地ザフィマニリの木彫り工芸と木造建築
3. 学会等名 日本文化人類学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Taku lida
2. 発表標題 Swinging between German Romanticism and French Enlightenment: Zafimaniry Cultural Heritage in Madagascar
3. 学会等名 Inter-Congress of the International Union of Anthropological and Ethnological Sciences
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 和崎春日
2. 発表標題 韓国首都ソウルの結節機関とアフリカ人の集合－イテウォン地区と郊外アンサン
3. 学会等名 立教大学シンポジウム「流動する移民社会 頻繁な移動者に注目して」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 聖書を生きる人びと - 南部アフリカ聖霊教会の現在(いま)」
3. 学会等名 京都人類学研究会4月公開講演会(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 サハラ交易主要都市の世界文化遺産データベース構築と保存・修復の実態「
3. 学会等名 日本アフリカ学会第52回学術大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Katsuhiko Keida
2. 発表標題 On Ethnographic Allegory through the Repatriation Story of Stolen Vigango (Mijikenda Memorial Statutes in Coastal Kenya) in the Postcolonial World
3. 学会等名 The American Anthropological Association 2019 Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 亀井哲也
2. 発表標題 南アフリカ・ンデベレ女性の壁絵運動の現在 日本における描画活動の前と後
3. 学会等名 第7回文化遺産国際協力コンソーシアム アフリカ分科会 (招待講演) 於: 東京文化財研究所 (招待講演)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計11件

1. 著者名 吉田憲司 (編者代表)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 391
3. 書名 世界の仮面文化事典	

1. 著者名 Taku Iida (ed.)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 National Museum of Ethnology	5. 総ページ数 232
3. 書名 Heritage Practices in Africa (Senri Ethnological Studies 109)	

1. 著者名 飯田 卓	4. 発行年 2017年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 408
3. 書名 文化遺産と生きる	

1. 著者名 飯田 卓	4. 発行年 2017年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 376
3. 書名 文明史のなかの文化遺産	

1. 著者名 飯田卓、西本希呼、ラザフィアリヴニ・ミシェル、深澤秀夫（編訳）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所	5. 総ページ数 178
3. 書名 マダガスカルのみ話II ヴェズ・マシクル・タンドウルイ・ベツィミサラカ・ツイミヘティ	

1. 著者名 吉田憲司	4. 発行年 2016年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 252
3. 書名 仮面の世界をさぐる アフリカとミュージアムの往還	

1. 著者名 吉田憲司	4. 発行年 2016年
2. 出版社 国立民族学博物館	5. 総ページ数 83
3. 書名 増補版・武器をアートに モザンビークにおける平和構築	

1. 著者名 慶田勝彦、田川 玄、花淵馨也（編）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 九州大学出版会	5. 総ページ数 260
3. 書名 アフリカの老人 老いの制度と力をめぐる民族誌	

1. 著者名 飯田卓	4. 発行年 2016年
2. 出版社 国立民族学博物館	5. 総ページ数 326
3. 書名 中国地域の文化遺産 人類学の視点から (国立民族学博物館調査報告 No.136)	

1. 著者名 和崎春日	4. 発行年 2020年
2. 出版社 刀水書房	5. 総ページ数 779
3. 書名 響きあうフィールド, 躍動する世界	

1. 著者名 和崎春日	4. 発行年 2020年
2. 出版社 刀水書房	5. 総ページ数 779
3. 書名 響きあうフィールド, 躍動する世界	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	飯田 卓 (Iida Taku) (30332191)	国立民族学博物館・人類文明誌研究部・教授 (64401)	
研究分担者	慶田 勝彦 (Keida Katsuhiko) (10195620)	熊本大学・大学院人文社会科学部(文)・教授 (17401)	
研究分担者	和崎 春日 (Wazaki Haruka) (40230940)	中部大学・国際関係学部・教授 (33910)	
研究分担者	亀井 哲也 (Kamei Tetsuya) (60468238)	中京大学・現代社会学部・教授 (33908)	
研究分担者	Oussouby Sacko (Sacko Oussouby) (70340510)	京都精華大学・人文学部・教授 (34317)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
連携研究者	井関 和代 (Iseki Kazuyo) (60073285)	大阪芸術大学・芸術学部・教授 (34405)	
連携研究者	阿久津 昌三 (Akutsu Shozo) (30201883)	信州大学・教育学部・教授 (13601)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計3件

国際研究集会 Workshop “ The Museum as a Guardian of Cultural Heritage ” (August 25, 2017, Manhyia Palace Museum, Kumasi, Ghana)	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 Workshop on Museology, Lusaka., 2016	開催年 2016年～2016年
国際研究集会 Symposium "Cultural Heritage and Community", Lusaka., 2018	開催年 2018年～2018年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関		
英国	大英博物館	イーストアングリア大学セインズベリー芸術センター	
米国	カリフォルニア大学ロサンゼルス校	スミソニアン協会国立自然史博物館	
ザンビア	国立博物館機構		
南アフリカ	ウイトウォーターズランド大学美術館	コドゥワナ文化村	
カメルーン	パムン王国宮殿博物館		
ガーナ	マンヒーヤ王宮博物館		
マリ	マリ国立博物館		
ケニア	ケニア国立博物館		